

「教祖が現身を隠されて後の “お道の歴史”を学ぶ」

教祖のご在世中のことは、修養科などで、多くの人が学んでいることかと思えます。しかし、教祖が現身を隠されてからのお道の動きについては、意外と学ぶ機会が少ないのではないのでしょうか。そこでこの度、深谷太清先生をお招きして、明治20年以降のお道の歴史についてお話していただきます。史実を知るだけでなく、歴史を通して、をやの思召、先人方の思いを知ることで、お互いの信仰心が一步前進する機会になればと思います。皆さんが、お道の歴史に興味を持つきっかけにもなればと期待しています。どうぞ奮ってご参加ください。

日 時：令和6年12月8日（日）

10時受付 10時30分開講 14時過ぎ閉講予定

会 場：和歌山教務支庁

対 象：教会長夫妻・前教会長夫妻・後継予定者夫妻・
布教所長夫妻・よふぼく

（一応、対象を決めていますが、どなたにお越しいただいても結構です。
但し、信仰が浅い人にはお話が難しいかもしれません）

受講お供え： 1,000円（昼食のお弁当込み）

締切日 11月28日（木）

申し込みは、教務支庁（TEL：073-436-4445）岩本まで

講師：深谷太清先生 本部准員・やまとよふき分教会長

現在、陽気誌（養徳社発行）にて、“教えを身近に”を執筆中
他、著書多数